



令和2年12月 市議会定例会

議員報酬の減額期間を延長

新型コロナウイルスの影響鑑み条例改正

平塚市議会は、令和2年11月25日から12月18日まで、24日間の会期で12月定例会を開催しました。今定例会では、市長提出議案として、条例の制定や令和2年度補正予算、人事案件など14案件が提出され、審議の結果、全ての議案を原案どおり可決、同意しました。

なお、9月定例会で提出され継続審査となっていた、令和元年度決算の認定などに関する議案は、決算特別委員会での審査結果を受け、認定、可決しました。また、議員から議員の報酬月額減額に関する議案が提出され、審議の結果、原案どおり可決しました。

※議案と審議の結果は8面に掲載しています。



「楽しい散歩」
《撮影 早川英司さん/日向岡》

議員の報酬については、令和2年5月臨時会で議員提案による条例の一部改正を行い、新型コロナウイルス感染症の緊急経済対策を実施する市の財政状況を鑑みて、6月から11月までの6か月間の報酬月額を5%減額しました。

今定例会では、減額期間を3年3月まで4か月間延長する議案が議員から提出され、採決の結果、全員異議なく可決しました。

◆**市民病院職員定数条例を制定**
市職員定数条例に定められていた市民病院の職員定数について、市民病院部分を分離して新たな条例を制定し、定数を54人増員する提案がされました。独自に職員定数を管理することで市民病院の独立性を強化するとともに、新型コロナウイルス感染症による

り変化する医療環境や、働き方改革推進などの社会情勢に対応するための柔軟な病院運営に取り組むとして、質疑では、医師や看護師が働きやすい職場環境の整備や、今後目指す病院運営などが問われました。討論では、賛成の立場から2人の議員が意見を述べました。医業収益額と人件費比率の推移、市民病院以外の市職員定数の推移を考慮して定数管理を図ることや、医療の質と健全経営を両立させるために経営を見える化することなどを要望する意見がありました。採決の結果、全員異議なく可決しました。

会では、その取り組みに関する予算を含めた一般会計及び病院事業会計の補正予算が提案されました。一般会計では、保育所や福祉施設、保健センターなどに表面温度を計測するAIサーモグラフィを設置する経費や、先進技術を活用したスマート農業の導入を支援する経費などが計上されました。このほか、ひとり親世帯臨時特別給付金(基本給付)の再支給に関する経費など3億8673万円増額となる補正予算が計上されました。採決の結果、全員異議なく可決しました。

◆職員及び議会議員の期末手当を減額

国家公務員に準じて一般職員や特別職員、議会議員などの期末手当の支給率を見直す議案が提出され、採決の結果、全員異議なく可決しました。

◆指定管理者の指定

指定管理者の指定に関する議案について、全員異議なく可決しました。

令和3年4月1日から、栗原ホーム及び馬入ふれあい公園は5年間、袖ヶ浜デイスサービスセンターは4年間、指定管理者が管理・運営を行います。

◆人事案件に同意

人権擁護委員の推薦に関する議案が提出され、全員異議なく同意しました。
○養島友子氏(袖ヶ浜)
○朝倉隆氏(花水台)

主な内容

| | |
|----------------|------|
| 総括質問 | 2~7面 |
| 清風クラブ | 2・3 |
| 諸伏清児 坂間正昭 野崎審也 | |
| しらさぎ・無所属クラブ | 4 |
| 江口友子 渡部 亮 府川 勝 | |
| 公明ひらつか | 5 |
| 鈴木晴男 上野仁志 | |
| 湘南フォーラム | 6 |
| 山原栄一 | |
| 日本共産党平塚市議会議員団 | 6 |
| 石田雄二 | |
| 無所属 | 7 |
| 久保田聡 | |
| 常任委員会の審査概要 | 3面 |
| 審議の結果 | 8面 |

令和元年度 決算を認定

《決算特別委員会の質疑内容は7面に》

9月定例会に提出された令和元年度の決算の認定に関する議案について、付託された決算特別委員会の審査結果を受け、12月定例会初日に各会計決算とも認定しました。

